

公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

令和4年度事業計画

I 公益目的事業

脱炭素社会推進事業・循環型社会推進事業・自然共生社会推進事業

1 はじめに

基本構想の実現に向けて

2021年度に策定した協会のミッションやビジョンとその実現に向けた戦略等を定めた「基本構想（2021年度～2030年度）」を実現するため、本計画に掲げる事業に確実に取り組んでまいります。

世界の動向と、当協会が果たす役割

2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の達成を後押しする国の施策やESG投資の浸透、持続可能な開発のための教育（ESD）などの動きも捉えて事業を展開してまいります。

京都市の動向と、当協会が果たす役割

2021年度から京都市基本計画をはじめ、脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けた新たな計画が策定され、2030年を見据えた取組が始まりました。各計画の下地には、2017年12月の「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」が存在します。京都市と共に宣言した協会は、「2050年の世界の都市のあるべき姿」の実現に向け、持続可能な社会（脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会が融合する、自律分散型地域社会）を構築するため、様々なステークホルダーとの連携を強化し、一人でも多くの市民、事業者の意識・行動の変容に寄与してまいります。

京都市環境保全活動センター(以下「京エコロジーセンター」)指定管理業務

開館20周年の節目を迎える2022年度は、第5期指定管理期間（2021～2024年度）の2年目として、オンライン・オフラインの両方による多様なコンテンツを提供し、館内はもとより、館外でもより多くの方にご利用いただけるよう、尽力してまいります。

京都市の環境保全活動施策の中核を担う施設として、京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」（以下「さすてな京都」）や、京都市青少年科学センターとの連携を、より一層進めてまいります。

脱炭素社会の実現にむけて

2021年、イギリス・グラスゴーで開催されたCOP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）にて、パリ協定の「1.5度目標」が事実上「世界共通の目標」になりました。また、「IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書」や「地域脱炭素ロードマップ」の公表、京都市による日本の地方自治体として初めてのPPCA（脱石炭国際連盟）加盟宣言など、国内外で脱炭素社会の実現に向けた機運がさらに高まってきています。

2022年度も引き続き、省エネルギー・再生可能エネルギー導入によるCO₂削減や、気候危機への対策のさらなる推進と、脱炭素ライフスタイルの実現に向けた新たな社会実験等により、当協会も策定に参画した「京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>」の推進に寄与してまいります。

循環型社会の実現にむけて

2022年4月の「プラスチック資源循環促進法」施行を控え、国内でも循環型社会や、サーキュラーエコノミーの実現に向けた機運が高まってきています。

2022年度も引き続き、ごみ減量とともに、プラスチックごみ、食品ロス対策などの2R啓発はもちろん、観光ごみ対策や質の高い資源循環に向けた分別・リサイクルの促進、リニューアブル（Renewable：再生可能資源の活用）についての情報発信等を行い、「京（みやこ）・資源めぐるプランー京都市循環型社会推進基本計画（2021-2030）ー」の推進に寄与してまいります。

自然共生社会の実現に向けて

2021年10月、中国昆明で国連生物多様性第15回締約国会議（CBD COP15）第一部が開催され、2022年4月には第二部が開催されます。愛知目標に代わる新たな世界の生物多様性保全のための国際目標「ポスト2020生物多様性枠組」の採択に向け、生物多様性の主流化とともに、気候変動対策との相乗効果が今後求められてきます。また、プラスチックごみが生態系に与える深刻な影響も続いています。

2022年度も引き続き、世界や国の動向にも注目しつつ「京都らしさ（伝統・文化・景観など）」を支える生物多様性に他の環境課題が与える影響も踏まえた取組を行い、「京都市生物多様性プラン（2021-2030）」の推進に寄与してまいります。

2 公益目的事業一覧

【1】環境保全活動拠点事業

- 1 京エコロジーセンター指定管理業務
 - 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供
 - 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示
 - 1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供
 - 1142 環境副読本発行
 - 1144 ホームページ等による情報発信
 - 1145 環境の保全に関する講座、研修等の開催
 - 1146 環境保全促進のための研究、調査等
 - 1147 環境ボランティアの育成
 - 1148 環境保全活動に関わる人材の育成
 - 1149 海外との交流
 - 1150 大学生の環境活動支援
 - 1151 アウトリーチ（館外での実施）

2 さすてな京都管理運営業務

【2】国際事業

- 1201 JICA課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」コース
- 1202 JICA草の根事業（マレーシア）フェーズ2「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」
- 1203 JICA日系研修受け入れ業務
- 1206 JICA技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト」支援業務
- 1205 その他国際事業（調査、案件形成等）

【3】地域環境活動支援事業

- 1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業
- 1303 2050年CO₂排出量正味ゼロに向けたみちづくり支援
- 1304 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援
- 1305 市民ワークショップ等の開催
- 1306 市民ライター育成事業
- 1600 ごみ減量推進事業
- 1503 住宅向け0円ソーラー
- 1504 太陽光発電プラットフォーム事業
- 1700 京のアジェンダ21フォーラム事業

【4】講師派遣事業

1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

【5】調査・研究・開発・発信事業

1501 調査・研究・開発・発信

1511 Leading project A リンカン学校

1512 Leading project B 京 KAMADOKI プログラム

1513 Leading project C 資金調達

1514 Leading project D 調査研究

1515 Leading project E デジタル化推進

1521 きょうと環境活動応援事業

1522 休眠預金活用事業

1523 全国小水力発電大会 in 京都

3 事業の主な内容

【1】環境保全活動拠点事業

環境教育・学習の機会の充実に向け、伏見区内の環境学習施設（京エコロジーセンター・さすてな京都・青少年科学センター）の3施設でそれぞれの特色を活かし、相互に連携した事業や利用促進に向けた情報発信を行います。

1 京エコロジーセンター指定管理業務

京エコロジーセンター指定管理業務については、第5期指定管理期間（2021～2024年度）の2年目を迎えます。

京都市の環境保全活動施策の中核を担う施設としての位置付けのもと、新たな地球温暖化防止計画、循環型社会推進基本計画、生物多様性プラン等の関連する各種計画や京都市環境教育・学習基本指針を踏まえつつ、市民、事業者、大学、環境保全活動団体、京都市などの広範囲な主体と協働して環境保全活動に取り組みます。「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」や、コロナ禍を経ての「グリーン・リカバリー」を目指すために必要な取組や社会像を意識し、広く市民に共有することを目指した事業や、2022年4月に迎える開館20周年の記念すべき1年間であることを意識しながら、以下の事業を行います。

（事業番号1111～1151は、指定管理費より支出）

1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供

京都市の環境教育・学習の中核施設として、市民、事業者等が環境保全活動のために会議やセミナー等を実施する場合の会場等の提供、企画展示コーナーにおける共同企画展を実施します。また、環境保全活動にかかる印刷物作成のための印刷室の提供や、小規模の環境活動団体向けのメールボックスサービス等を行います。あわせて、施設の設備やサービスを充実させるため、来館者アンケートを実施し、来館者のニーズを把握します。

1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示

身近なごみ問題から地球規模の環境問題まで幅広い視点に立った環境意識の定着を図るため、京エコロジーセンターの常設展示の更新・補修を行います。館内においては市民団体、事業者、大学などの他団体との共同主催型企画展を積極的に実施します。また、広く京都市内の市民に環境保全に係るメッセージ等を伝えるため、館外における企画展示（移動型）の実施に向けて、ニーズ調査や企画展示の内容を検討します。

1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供

国、地方公共団体や市民活動団体の環境保全に関する情報を収集し、収集した情報は、かんきょう図書コーナーで閲覧に供するととどまらず、ホームページやSNSで広く発信するとともに、各種事業に反映します。かんきょう図書コーナーの図書貸出サービスは個人向けを中止し、学校・団体等への貸出に特化して実施するとともに、ゆっくりと資料の閲覧ができるような施設環境の充実に図ります。

学校や自治会、PTAなど団体での来館者から見学希望があった場合は、目的に合わせ、気づきから行動につながる環境学習プログラムとして提供します。学校等から依頼を受けた場合は、職員や環境ボランティアを講師として派遣し、学習・研修等のアドバイスを行うとともに、教材の提供や開発支援を行います。出前講座については、学校等の積極的な利用に向けて、提供可能な学習内容の広報に注力します。

また、2021年度に開発した中学生向けのプログラム（館内用と出前講座用の2種）の広報及び実施に力を入れ、参加者からのフィードバックを得て、さらなる改善を行います。

1142 環境副読本発行

地球温暖化をはじめ幅広く環境問題について学べる環境副読本（小学4年生用、5年生用、中学生用）を作成し、市内全ての小学校及び中学校に配付します。2021年度に検討した方針を踏まえ、学校現場でより活用しやすいよう、環境副読本の補助教材（動画教材等）の充実をはかります。また毎年度のデータの時点更新については、2022年度より毎年度1種類ずつ行います。

1144 ホームページ等による情報発信

京エコロジーセンターのホームページやSNS等を活用し、環境イベントの案内や見学・活用方法、環境保全活動支援メニュー等の京エコロジーセンターの情報や、他団体による環境保全活動や関連するイベントの情報について、効果的な情報収集と発信を行い、多くの市民に環境保全活動に関する情報が届くようにします。

1145 環境の保全に関する講座、研修等の開催

環境に配慮し、脱炭素・循環型・自然共生社会の実現に向けたライフスタイルを実践するきっかけをつくるために、市民や事業者等が興味を持ちやすく、家庭や学校、職場、地域等での実践につながるような、講座や研修等を京エコロジーセンター館内にとどまらず、館外及びオンラインでも実施し、広く参加の機会を届けます。企画にあたっては様々な団体等とのパートナーシップを重視していきます。

1146 環境保全促進のための研究、調査等

2050年の京都における脱炭素社会と将来世代が夢を描ける豊かな社会を同時に実現するため、市民、事業者及び学識者等で構成された「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」において、市民が共有すべきライフスタイルのビジョンを京都市とともに構築し、連携してその実現に向けた取組の推進を図ります。

推進チームが先駆けとなって、市民や事業者、団体等を巻き込みながら、「自分ごと、みんなごととして、未来のために自分たちに何ができるか」を考え、新しいライフスタイルを実践する動きが、市民運動的に広がることを目指します。

1147 環境ボランティアの育成

来館者に対し館内の展示物や環境に配慮した設備を案内する環境ボランティア（エコメイト）を募集し、育成します。すでに活動している環境ボランティアに向けては、ボランティアがやりがいを持って、段階的に活動を発展させていくためのボランティアマネジメントや研修（案内活動に活かせる研修や、企画の手法等）を行います。なお、ボランティア活動の内容や規模にあわせ、対面とオンラインを使い分けたり、併用したりしながら実施します。環境ボランティアのマネジメントにあたっては、館内で活動を行うエコメイトを対象とするものに注力します。

1148 環境保全活動に関わる人材の育成

市民を対象とした、脱炭素社会に向けての具体的な取り組みを行う人材やそれを牽引するリーダーの育成を目指した連続講座を実施します。また、講座を修了した人材が実際に活動の場で実践できるように協会の実施する他事業との連動を図ります。

1149 海外との交流

京エコロジーセンターにおいて、国内外の他都市や団体等との連携・交流につながるような国際的な取組を推進します。海外の環境活動団体や環境教育施設、環境教育の研究者・実践者などとの交流を推進するようなオンラインでの取組を行い、交流を深めるとともに、その成果を広く発信します。また、協会で開催している京都市や京エコロジーセンターのノウハウを活用した国際協力の成果をわかりやすく取りまとめ、発信します。

1150 大学生の環境活動支援

大学生の環境活動を支援するため、インターンシップ受入や環境教育、環境保全活動、市民活動等をテーマとする研究活動への協力を行います。また、みやこKAMADOKIプログラムとの連動も意識し、参加した大学生グループによる京エコロジーセンターを拠点とした実践活動を支援します。さらに、館内での大学生の取組支援にとどまらず、館外での大学生の環境活動の取組支援を、学生個人・団体にとどまらず、大学やゼミ活動との連携により、より効果的に進めていく方法を検討します。

1151 アウトリーチ（館外での実施）

プログラム（出前講座、館外プログラムの実施、巡回型企画展示等）や講座・セミナーなどを館外で積極的に実施します。他事業との連動を常に意識しながら、京エコロジーセンターで培ったノウハウを館外における啓発・環境活動支援に役立てます。（各事業内で実施）

2 さすてな京都管理運営業務 ※京都市委託事業

2101 さすてな京都管理運営業務

（当協会と2社による連合体「さすてな京都運営コンソーシアム」として実施します。）

南部クリーンセンターに設置された、世界最先端の環境技術等が楽しく学べる環境学習拠点「さすてな京都」において、子どもから大人まで幅広い年代に対し、施設見学や学習プログラムなどを実施します。4年契約の3年目として、小学校4年生の社会見学受入対応や、伏見区3施設（京エコロジーセンター・京都市青少年科学センター・さすてな京都）の利用促進等、施設の安定運用を目指します。

【2】国際事業 ※JICA委託事業

1201 JICA 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」

途上国の自治体における都市開発担当者及び環境・気候変動対策担当者を対象に、脱炭素・持続可能な都市を実現するための制度構築・運営手法について、参加自治体と日本側関係者が協働で課題解決策を検討する研修を企画・実施します。本研修は、オンデマンド講義とライブセッションを組み合わせた遠隔研修で実施し、本研修で学んだことを活かし、参加する研修員がそれぞれの立場で実現可能なアクションプランを作成することを支援し、その実行にかかるフォローアップを行います。

1202 JICA 草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

マレーシア国ジョホール・バル市において、京エコロジーセンターをモデルとした環境教育・環境保全活動の拠点施設の設立支援及びその機能強化にかかるプロジェクトを実施しています。今年度は、現地への専門家派遣を行いコロナ禍で滞っていた環境教育プログラムや展示の開発に向けた研修を現地の施設に従事する職員に対して実施します。加えて、ボランティアプログラムやボランティアマネジメントに係る研修も行う予定です。

1203 JICA 日系研修受け入れ業務

中南米の日系研修員を対象とした約1ヵ月間のJICA日系研修「環境教育リーダー養成研修（都市型環境教育）」コースを企画・実施します。OJT形式で協会の業務を行うことを通じ、環境教育プログラムの企画・実施方法や市民参画での環境教育・環境保全活動の推進のための視点を学び、帰国後それぞれの立場で活躍できる環境教育リーダーの育成を行います。研修実施後は、その成果を整理し、発信します。（JICAを通じて公募がかかり、参加者の応募があった場合のみ実施されることとなります。）

1206 JICA技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト」支援業務

これまでの「1201 JICA 課題別研修」での知見を活かし、一般財団法人日本環境衛生センター（JESC）がインド国ヴァラナシ市職員向けに実施する、京都市の廃棄物管理にかかる訪日研修において、研修内容のコーディネートを行う予定です。

1205 その他 国際事業（調査、案件形成等）

当協会の強みを活かせる国際協力分野での新たな案件形成に取り組みます。これまでに協会が培ったネットワークを活かし、国内外の教育現場を中心とした「持続可能な開発のための教育:SDGs 達成に向けて (ESD for 2030)」の実践に繋がる案件形成に挑戦します。

【3】地域環境活動支援事業

※計画時点では未確定ですが、京都市に提案する内容が採択されれば、実施します。

※1301 の事業を中心に、京都市から貸与されている「水素で走る燃料電池自動車 (FCV)」を活用し、利用段階で温室効果ガスの排出がなく、再生可能エネルギー等のエネルギーを貯蔵できる、「水素エネルギー (再生可能エネルギー由来)」の啓発に取り組めます。

1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業 ※京都市委託事業

京都市内で地域活動の中心的な役割を担っている「学区」と、学区以外のコミュニティ (自治会、ボランティア団体及び大学サークル等) に対して、地域性を活かした独自のエコ活動、地球温暖化の現状と対策をはじめとする環境保全に関する知識を提供する学習会、省エネ体験会の開催等、地域の意欲に応じた支援業務を実施することで、地球温暖化を自分ごとととらえ、環境と調和したライフスタイルへ転換に取り組む機運を醸成します。

1303 2050年CO₂排出量正味ゼロに向けたみちづくり支援事業 ※京都市委託事業

エコ学区事業の参加主体をこれまで活動に参加していなかった市民に広げるとともに、持続性を有する取組とするため、地域ぐるみで脱炭素に資する取組の意欲を持つコミュニティと、脱炭素に資する経済活動を行うNPO、企業、大学等の事業者をマッチングし、コミュニティと事業者等の連携による脱炭素ライフスタイルの実践を目指すモデル事業を実施します。さらに、これらの事例を発信することで、成果モデルを他コミュニティや事業者等へ発信し、同モデルが市内全域に広がることを目指します。

1304 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援事業 ※京都市委託事業

「2050年の脱炭素ライフスタイル像」の実現を目指し、市民、事業者、NPO、金融、学識者など、多様なステークホルダーとのパートナーシップによるワーキングチームにて、新しいライフスタイルを実践する動きが、市民運動的に広がることを目指します。

1305 市民ワークショップ等の開催 ※京都市委託事業

市民に、脱炭素ライフスタイルビジョン、アクション及びプロジェクトについて、学び、自分ごととして考えていただくためのワークショップや、学生に対して、プロジェクトを新たなビジネスとして考えていただくアイデアソンを開催し、脱炭素ライフスタイルへの意識変革を促すとともに、市民の主体的な関わりを誘発します。

1306 市民ライター育成事業 ※京都市委託事業

市民自らがライターとなって、脱炭素ライフスタイルに資する取組を発信いただくため、

市民ライター育成のプログラムを実施し、脱炭素ライフスタイルへの意識変革を促すとともに、市民の主体的な関わりを誘発します。

1600 ごみ減量推進事業

市民、市民団体、事業者、事業者団体、ごみ問題の専門家、京都市などが自発性とパートナーシップを基本として、ごみ減量に関する意識の高揚化を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自主的な取組を促進することにより、京都市のごみを減らし、環境を大切にしまちと暮らしの実現に寄与するために、以下の事業を実施します。

1621 普及啓発 ※京都市委託事業

- ・パンフレット、ホームページ等を活用し、効果的な広報を行います。
- ・ごみ減量につながるライフスタイルへの転換のヒントや各団体の活動報告等を掲載した情報誌「こごみ日和」を年4回発行します。
- ・全市的イベント等において啓発ブース（パネル展示、アンケート、クイズ、工作教室等）を出展します。
- ・市民向け、親子・子ども向け、企業向けのごみ減量講座やワークショップ等を行います。

1622 ごみ減量事業化 ※京都市委託事業

- ・市立小中学校児童生徒が回収した学校給食用牛乳パックを、トイレトペーパー「めぐレット」にリサイクルします。
- ・ごみ減量・リサイクルに関する取組など、循環型社会の実現に資する事業に取り組む団体等を応援します。

1623 地域活動 ※京都市委託事業

- ・小学校区（元学区を含む）を基本単位として、地域住民により組織される地域ごみ減量推進会議の活動を支援します。
- ・地域ごみ減量推進会議の行政区単位での活動や取組等について、情報共有や意見交換を行います。

1624 2R型エコタウン構築事業 ※京都市委託事業

- ・2R型ライフスタイルを広めるための人づくり事業を実施します。
- ・2Rの考え方や施策、モデルとなる行動様式等を発信します。
- ・日用品等の修理等を行う店舗を紹介し、その利用促進及び家庭ごみの減量を図ります。

1625 会費等を活用した自主事業 ※自主事業

会費等を活用し、ごみ減量に資する事業を実施します。

1700 京のアジェンダ21フォーラム事業 ※自主事業

市民、事業者、行政が協働して、京のアジェンダ21に示された取組の具体化及び行動

への誘導，並びにその評価及び充実を図り，もって環境と共生する持続型社会を実現するために，京のアジェンダ21フォーラムとしての事業を実施します。

2020年度に行った京都市地球温暖化対策条例・計画への提言でまとめた取組，例えば，再生可能エネルギーの拡大，住宅の脱炭素化，グリーン金融の活用，市民参加の手法の研究などについて，京のアジェンダ21フォーラムの持つ機能を活かしながら進めます。

1704 観光のエコ化の推進 ※自主事業

祇園祭ごみゼロ大作戦へ参画するとともに，持続可能な観光に関する取組を実施します。

1708 会費等を活用した自主事業 ※夏原グラント助成金活用事業，自主事業

※計画時点では未確定ですが，提案する内容が採択されれば，実施します。

K E S登録企業等が地域での環境活動を進めるための取組や，生物多様性保全活動を進めるネットワーク事業への参画を行う他，京のアジェンダ21フォーラムの会員が参画できるような取組を実施します。

1503 住宅向け0円ソーラー ※京都府委託事業

※計画時点では未確定ですが，提案する内容が採択されれば，実施します。

京都府と京都市が共通のプラットフォームとして設置している「京都0円ソーラープラットフォーム」を活用し，京都府が進める0円ソーラー導入支援事業を実施します。

1504 太陽光発電プラットフォーム事業 ※京都市委託事業

※計画時点では未確定ですが，提案する内容が採択されれば，実施します。

京都市が再生可能エネルギーの普及拡大を目指して2020年度から開始した，初期費用ゼロで太陽光発電設備を導入する「0円ソーラー」を多くの方に安心して利用してもらうための取組を実施します。

【4】講師派遣事業（事業番号1401）

1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

外部でのセミナーやシンポジウム等に職員を派遣し，環境教育，環境学習施設運営やボランティアコーディネーション，SDGsやごみ減量等をテーマとした講演や事例発表を行います。また，依頼元の要望にあわせた出前講座，セミナーやワークショップの企画実施を通して，他団体による環境活動の支援を行います。

【5】調査・研究・開発・発信事業（事業番号1501～）

1501 調査・研究・開発・発信

京エコロジーセンター・京都市ごみ減量推進会議・京のアジェンダ21フォーラム等，協会の取組を通してこれまで蓄積してきた，施設運営・環境教育・ボランティア育成及び

マネジメント・NPOや地域活動支援のノウハウ、ごみ減量や再生可能エネルギーの推進に関するコンサルティングや資源の提供をソーシャル・ビジネスとして展開するための調査・研究・開発・発信を行い、協会基本構想の実現を目指します。

Leading project ※自主事業

協会の強みを活かしたドメイン（取組の領域）を設定し、ステークホルダーと共創し、「End of Pipe（出口の規制）」型の活動にとどまらず、問題の根源的な解決や元栓を閉める活動（問題の川上の活動）にも取り組みます。リーディングプロジェクトは、次の視点（①新しいチャレンジ②これまでの蓄積を活かした展開③事業や組織を支える財源確保）のもと、協会内部署（理事を含む）を横断して協働で企画・実施することで、協会職員の人材育成に資するものとしします。

1511 Leading project A 飛び出せエコセン！「リンカンガッコウ」

公益事業として収益を上げるコンテンツ「リンカン学校」を企画・実施します。

1512 Leading project B みやこKAMADOKIプログラム

※JT助成金活用事業 採択されれば、実施します。

企業の課題をSDGsの観点で解決する大学生プログラムを実施します。

1513 Leading project C 資金調達プロジェクト

寄付、賛助会員制度の仕組みを充実し、協会自主事業を実施するための資金調達を行います。

1514 Leading project D 調査研究プロジェクト

協会職員の関心事と持っている情報などをもとに調査研究を行います。

1515 Leading project E デジタル化推進プロジェクト

協会内において業務のデジタル化を推進するためのロードマップを作成します。

1521 きょうと環境活動応援事業 ※自主事業

事業者の協賛をいただきながら、消防分団等の廃棄予定の消防ホースをプランターにアップサイクルすることで、ごみ減量を障害者の就労支援、オレンジガーデンプログラム等の地域緑化と結びつける取組を実施するなど、協会のノウハウや資源を活用し、事業者と連携した環境活動に取り組みます。

1522 休眠預金活用事業 ※自主事業

※休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の公募に、複数団体による連合体（コンソーシアム）を形成して応募し、提案する内容が採択されれば、実施します。

持続可能な社会の実現に必要な「環境」「社会」「経済」を統合した課題解決策を生み出せる人材育成を実施するために、地域の自然資源・環境課題をよく知る環境団体と、困難な状況にある人々・生きづらさを抱える人々を支援する福祉活動が連携し、環境の取組も「ウェルビーイング」に資する地域の基盤づくりを行います。

1523 第7回全国小水力発電大会 in 京都 ※自主事業

「第7回全国小水力発電大会 in 京都」の開催に向けた実行委員会に参画することで、小水力発電に関するあらゆる関係者が一堂に会し、小水力発電設備の導入や普及促進のネットワークを構築し、小水力発電を推進する場を創ります。

II 収益事業

5101 貸館事業

京エコロジーセンターの貸会場（5室）について、今年度も利用率の向上を図る効果的な広報等に努めてまいります。

III その他事業（相互扶助等事業）

6101 秘密書類リサイクル事業

個人情報や秘密情報を含む書類は紙としてはリサイクル可能なものですが、通常古紙回収等では情報漏えい等の可能性があるため、焼却により処分される場合が散見されます。

本事業は紙のリサイクルを一層推進するため、個人情報や秘密情報が外部に漏れないよう保持したまま、溶解処理により秘密書類を段ボール板紙に再生するものです。

この事業は京都市ごみ減量推進会議の会員向け事業として実施し、収集運搬等は古紙を扱う事業者組合へ入札により委託します。